

平成30年8月22日
九州地方整備局
筑後川河川事務所

～矢部川の流量が減少しています～
「筑後川河川事務所渇水対策支部」の設置について

筑後川河川事務所においては、本日11時に『筑後川河川事務所渇水対策支部』を設置しました。

1、矢部川基準地点：船小屋流量

平成30年8月22日 10時 3.84 m³/秒（速報値）

2、日向神ダム貯水量

平成30年8月22日 10時 72.2万m³（貯水率 3.9%）

3、設置理由

矢部川水系の中・下流農業地域では、水稻の穂ばらみ期～開花期を迎えており、水を最も必要とする時期であることから需要増加が見込まれます。

7月末日以降の少雨傾向により、河川流量が減少しており、矢部川上流に設置されている日向神ダム（福岡県管理）においては、このまま放流を続けると8月25日にはダムの有効貯水量が底をつく状態となります。

農業用水の取水において逼迫した状況になると予想されることから、8月16日に「矢部川水系渇水調整協議会」を開催し、節水申し合わせとダムの有効貯水量枯渇後の対応を協議したところです。

「渇水対策支部」を立ち上げることにより、関係機関との情報共有や連携を図る等、矢部川の渇水対応の強化を図ります。

《問い合わせ先》

国土交通省 九州地方整備局 筑後川河川事務所

副 所 長 ひらい 平井 しんたろう 新太郎（内線205）

建設専門官 まつだ 松田 ひでき 英樹（内線401）

直 通 0942-33-9222